

3カ国共通ニーズ、「仕事を通じた能力アップ」「情報通信機器を用いた効率アップ」「素早い情報収集」

日本、中国、韓国の3カ国間における商品の受け入れられ方について、前回の「とうふ」に続いて「携帯電話」についての調査結果を報告する。今回は、「携帯電話」に対するニーズを探るため、「仕事と情報」についての調査結果を報告する。

3カ国共通して、「仕事を通じて自分の能力を高めたい」が、80%以上の高い割合を獲得して1位となった。




また、3カ国ともに60%以上もの人が、「情報通信機器で仕事の効率をあげたい」「常にインターネット接続して情報を得たい」「他人よりも早く情報を入手したい」と回答した。3カ国共通の仕事意識として、仕事を通じた能力アップや情報通信機器を用いた効率アップに対するニーズがあるようだ。特に韓国では、「常にインターネット接続して情報を得たい」「他人よりも早く情報を入手したい」と回答した人の割合が日本と中国よりも10ポイント以上高く、情報を重要視する度合いが高いことがうかがえる。

3カ国ともに情報は重要視されている。「携帯電話」を含む情報通信機器に対するニーズは高く、仕事の効率化や人より早く情報を得るために有効な手段と考えられているようだ。

中国でのインターネット人口普及率は、5.3%(引用:情報通信ハンドブック2004年)と、日本と韓国の10分の1未満である。今回の回答者はインターネットユーザーに限られるが、彼らの情報収集に対するニーズは日本と韓国に匹敵しており、今後の普及率の拡大によってITビジネス大国となる可能性を秘めている。

仕事と情報について感じること




(%)

	日本 	中国 	韓国 
仕事を通じて自分の能力を高めたい	80.6	85.6	87.7
情報通信機器で仕事の効率をあげたい	66.3	77.3	80.3
常にインターネット接続して情報を得たい	66.3	72.9	79.1
仕事よりもプライベートを優先させたい	63.4	66.9	70.8
他人よりも早く情報を入手したい	62.9	63.2	60.0
失業や仕事が無くなり不安がある	58.7	62.7	48.9
他人よりも早く出世したい	35.4	50.7	47.1
起業したい	34.7	38.2	46.2
必要とあれば24時間働く	29.7	33.6	44.3
社長や重役など会社のトップに立ちたい	24.0	25.9	37.2

Base for % : 707s

Base for % : 432s

Base for % : 325s

 : 日本特徴  : 中国特徴  : 韓国特徴  
ハッチング基準: 他の2国より10ポイント以上の差がある場合

有職者ベース Base for % : 1,464s